



ラトビアの文化と手しごと展

2020.2.15 (土) ~ 2020.3.21 (土) 蒲生図書館

※最終日は16:00まで

開館時間：10時~18時 休館日：月・火、2.23 (日)、3.20 (金)

コンサート「春待つラトビアの調べ」

ラトビアの伝統的な弦楽器「クアクレ」とヴァイオリン、パーカッションの編成からなる日本初のラトビア伝統音楽ユニット・ウズマニープが、素朴で温かみのある音色を奏でます。

2020.3.21 (土) 19:15~ (開場 19:00)

定員

70名 (無料/申込みが必要です)

※申込み後、チケットをお渡しします。





ようこそ、「歌う民」の暮らす国 ラトビアへ



自然豊かなバルト三国の一つ、ラトビア。
四季の移ろいに沿った暮らしと 伝統文化を大切にする人々が暮らし、編み物や織物、木工品などの手工芸が盛んに行われています。また古来より、めぐる季節や年中行事など様々な事柄を歌や音楽で表現し伝えてきたことから、「歌う民」とも呼ばれています。

展示では、温かみのある手しごとの数々と 美しいラトビアの写真を、またコンサートでは素朴で心に染みる伝統音楽を味わっていただけます。

豊かなラトビアの文化を、どうぞお楽しみください。



UZMANĪBU ウズマニープ プロフィール

2014年結成。ラトビア共和国に伝わる伝統音楽を演奏する日本初のアンサンブル。
メンバーは、日本では珍しいラトビアの伝統楽器クアクレ奏者の溝口明子^{みぞぐちあきこ}、アラブ音楽を中心に様々なジャンルで活躍するヴァイオリニストの秦進一^{はだしんいち}、ケルトや北欧の音楽をメインに豊富な経験を誇るパーカッションのAkiの3名。
ラトビア人の日々の暮らしの中で生まれ、伝わってきた素朴で心に沁みる民謡を奏でている。これまで駐日ラトビア共和国大使館、ラトビア政府観光局主催イベント、北欧の音楽祭などでライブを行い、ラトビア人アーティストとも共演する。2019年10月にはラトビア大統領閣下の御前演奏を行った。



3.15 (日)
14時～

ワークショップ 「ラトビアのおはなしと小物づくり」

ラトビア雑貨専門店 SUBARU の店主であり、ウズマニープのメンバーでもある溝口明子さんとラトビアのハーブティーを楽しみながら、ラトビアの手しごとの魅力について語っていただきます。お話の後に、ラトビアの毛糸を使った小鳥のオーナメント作りを体験できます。



会場 蒲生図書館 多目的室

定員 大人 15名 (要申込)

参加費 500円 / 持ち物 裁ちばさみ



交通のご案内



近江鉄道 桜川駅より約1km

近江バス 日八線「市子殿」より0.5km
長峰線「蒲生支所前」下車すぐ

車 蒲生スマートインターチェンジ (ETC専用)より約3km

《東近江市立蒲生図書館》

〒529-1531 滋賀県東近江市市子川原町 676

Tel : 0748-55-5701 / IP : 050-5802-8342

FAX : 0748-55-5703